

## 世界選手権 派遣標準記録 突破者

日本の競技力を世界のレベルに近づけるため、1つの策として世界選手権 派遣記録が大幅にUP。食らいについて記録の向上を見せる選手が出ている。

今大会で突破できる選手、なるべく近い記録を出し、ラストチャンスとなる6月末の「第8回チャレンジカップ京都大会」へつなげることができる選手がどれくらい出てくるかご注目ください。

2月末時点で突破しているのは8名。

うち、派遣標準記録設定時に、すでに届いていた選手6名

- 女子 79Kg 級 田中秩加香（京西電機株式会社）  
さらに非公認ながら、自己ベスト・日本新相当 106Kg を 2024 年 12 月練習会中のトライアルにてマーク
- 男子 54Kg 級 市川満典（コロンビアスポーツウェアジャパン）
- 男子 59Kg 級 光瀬智洋（エグゼクティブプロテクション）
- 男子 72Kg 級 樋口健太郎（コロンビアスポーツウェアジャパン）
- 男子 80Kg 級 大堂秀樹（SMBC 日興証券）
- 男子 88Kg 級 田中翔悟（三菱重工高砂製作所）

2024 年 12 月、愛知記録会で突破したのは2名

- 女子 61Kg 級 桐生寛子：非公認ながら日本新相当 80Kg をマーク（試技動画）
- 男子 65Kg 級 奥山一輝（サイデン化学）：非公認ながら日本新相当 162Kg をマーク（試技動画）